

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

開始日時	2025 年 1 月 11 日 (土)	14 時 00 分
終了日時	2025 年 1 月 11 日 (土)	16 時 50 分
名称	第 141 回 CPD 専門知識向上講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	千葉市文化センター 9 階会議室 2・3・4 講演 + ZOOM リモート講演	
行事内容	1. 主催者挨拶 志澤達司副支部長 2. 講演者紹介 岡部政美技術士 3. 講演 「脱炭素と原発のはざままでメタンハイドレートに出番はあるか」 講師：松本 良先生 (東京大学名誉教授・明治大学特任教授、博士(理学))	
参加人数	会場出席者 22 名、リモート講演出席者 24 名、合計 46 名	

講演概要：

30 年前、石炭・石油から天然ガスへの移行が我が国のエネルギー政策の柱であり、夢の天然ガス資源・メタンハイドレートの探査では世界のトップランナーとも言われていたが、天然ガスも化石燃料であり、開発プロジェクトにかつての勢いがないのが実情である。講演では、「燃える氷」として、海底に存在するメタンハイドレートの生成における温度・圧力条件が説明された。また、メタンハイドレート採掘における音波による特徴的な反射面である BSR (Bottom Simulating Reflector) の検出についても説明していただいた。次に日本周辺海域における南海トラフの砂層型ハイドレートと日本海の表層型ハイドレートの実際の探査・生産試験が説明された。さらに、海底での自走式掘削装置やドリルピットを用いた回収方法も紹介された。最後に、脱炭素社会へ向けたエネルギー安全保障の課題と展望について述べていただいた。また、再エネと天然ガス火力を主力とした電源構成を提言いただいた。質疑応答では環境への配慮に関する質問が聴講者からあり、講演者より CCS (Carbon dioxide Capture and Storage) による CO₂ の貯留技術を説明いただいた。



主催者挨拶



講演中



会場風景



質疑応答